



羽幌町



海鳥の楽園・天売島  
オンコの森・焼尻島  
二つの魅力的な島を  
有する羽幌町。かつて  
栄えたその跡地は、  
観光地として再び注  
目されている。

●にオロロン島の巨大な  
モニュメントがある。

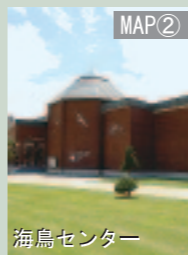


増毛町から豊富町までの  
10市町村228.5kmの指  
定バス路線が乗り放題  
となる、お得な萌えっ子  
フリーキップ。切符には  
萌キャラが描かれてお  
り人気を博している。  
発売期間・有効期限は  
2010年4月30日まで。



萌えっ子  
フリーキップ  
1日券：2,300円  
2日券：3,200円  
(連続する2日間有効)

沿岸バス株式会社  
■苫前郡羽幌町南3条2丁目  
■TEL：0164-62-2051



海鳥センター

日本で唯一の海鳥専  
門施設で、海鳥のこ  
とを学べる。

・開館時間  
(火～金) 9:00～17:00  
11月～3月末は16:00閉館  
(土日祝日) 9:00～17:00  
・定休日：月曜、祝日の翌日  
年末年始

北海道海鳥センター  
■苫前郡羽幌町北6条1丁目  
■TEL：0164-69-2080



はぼろパラ園

最北のパラ園として  
平成10年開園。珍し  
い北方系のバラ350  
種類、約2000株を見  
ることが出来る。開  
花時期は、7月中旬  
から9月上旬。

はぼろパラ園  
■苫前郡羽幌町北3条1丁目  
■TEL：0164-62-3800



ほっと・はぼろ

国道232号線沿い、真  
っ白な豪華客船をイ  
メージしたはぼろ温  
泉サンセットプラザ  
にある道の駅。天然  
温泉や地元特産品販  
売コーナーもある。

道の駅ほっと・はぼろ  
■苫前郡羽幌町北3条1丁目  
■TEL：0164-62-3800

「るもいに生きる！」シリーズ公開中



動画館るもい座

動画館るもい座 | 検索

http://rumoi-sasurai.lolipop.jp/wordpress/



工藤 俊也さん  
羽幌炭砧の跡地を巡  
る周遊ツアーを企画  
し、ガイドとして多  
くの人々を案内して  
いる。



佐藤 一夫さん  
焼尻島の自然再生を  
願う佐藤さん。その  
ためには、水の大切  
さを考えなければな  
らぬと語る。



寺沢 孝毅さん  
天売島を、海という  
宇宙に浮かぶ「小さ  
な地球」と呼び、地  
球全体の環境を考え  
る自然写真家。



森脇 洋三さん  
海の青さ、空気の綺  
麗さ。天売島を癒し  
の場と呼び、都会で  
は得られない本当  
の豊かさを伝える。

地元の大豆と米を使  
った地元お母さんの  
手作り味噌。ホクレ  
ンショップなど町内  
で販売中。630円(1kg)。



あっちゃんみそ

ホクレンショップ羽幌店  
■TEL：0164-69-2211

上羽幌生産組合(峠口舟子)  
■苫前郡羽幌町上羽幌  
■TEL：0164-62-4877

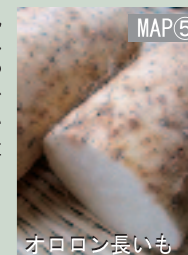
潮風を浴びた牧草を  
食べて育ったサフォ  
ークは、柔らかい肉  
質で臭みが少なく、  
ほのかな塩気と旨味  
がにじみ出る。購入  
時にはお問い合せを。



サフォーク肉

はた精肉店  
■苫前郡羽幌町朝日8-5  
■TEL：0164-62-1732

寒暖差のある気候風  
土を活かし栽培され  
た長いもは、甘みや  
粘りが強く、アクが  
少ないのが特徴。11  
月から12月にかけて  
、数量限定で販売さ  
れる。



オロロン長いも

オロロン農業協同組合  
■苫前郡羽幌町南6条2丁目  
■TEL：0164-62-2141

お問い合わせは地域情報受信システム実行委員会までどうぞ

留萌管内  
イベント情報

2月下旬～  
3月末まで

幌延町  
アウトドア体験プログラム(チカ釣り)  
■日 時：2月27日(土)～28日(日)  
9:00～12:30、13:00～16:30  
■場 所：天塩川河口付近  
■料 金：大人 3,000円 小学生以下 1,000円

小平町  
おびJAZZ  
「向井滋春featuring寺久保エレナ」  
■日 時：3月18日(木)  
開場 18:30 開演 19:00  
■場 所：小平町文化交流センター  
■入場料：大人 1,500円 高校生以下 500円

羽幌町  
第10回羽幌町民スキー場  
「びゅーまつり」  
■日 時：2月28日(日)  
9:45～12:00  
■場 所：町民スキー場「びゅー」

苫前町  
第18回北海道風あげ大会  
第37回苫前町風あげ大会  
■日 時：2月28日(日)  
9:30～14:00  
■場 所：とままえ温泉ふわっと

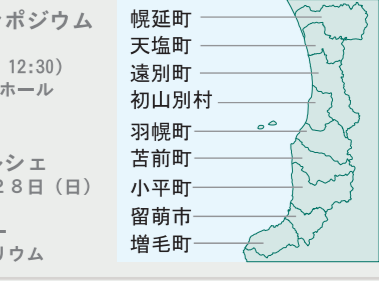
「春よこい」達布ふれあい雪まつり  
■日 時：3月13日(土)  
15:00～20:00(予定)  
■場 所：達布活性化センター前

留萌市  
るもい ロケット・宇宙科学展  
■日 時：2月22日(月)～27日(土)  
平 日：9:00～17:00  
27日：10:00～15:00  
■場 所：留萌合同庁舎1階道民ホール

未来の食と観光を考えるシンポジウム  
■日 時：3月6日(土)  
13:00～16:30(開場 12:30)  
■場 所：留萌市中央公民館 小ホール

札幌市  
留萌マルシェinサッポロマルシェ  
■日 時：2月26日(金)～28日(日)  
10:00～17:00  
■場 所：サッポロファクトリー  
アトリウム

第12回萌っこ春待里  
■日 時：2月28日(日)  
10:00～14:00  
■場 所：陸上自衛隊留萌  
駐屯地グラウンド



ヤマの灯

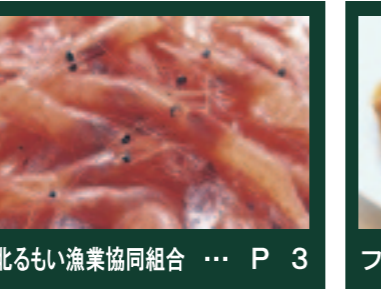
石炭が燃える「だるまストーブ」



【旬の人】… P 2



喫茶店ガロ… P 2



北るもい漁業協同組合… P 3



フードマガジン… P 3

編集後記

羽幌に幻の鉄道があったのをご  
存知だろうか。羽幌から名寄に向かう国鉄名羽(めい  
う)線である。昭和55年、名羽線の計画は凍結さ  
れ、全線開通には至らなかった。そして昭和62年3月  
30日、羽幌線が廃止され、羽幌から鉄道が姿を消し  
た。喫茶店「ガロ」には、羽幌線廃止当時の硬券切符  
が残されている。  
もうすぐ春。再び廃線跡が姿をあらわす。  
(高橋 信夫)

留萌地域情報サイト  
るもいfan あなたの 人・食・地域の情報おまちしております!  
発行・編集 / 地域情報受信システム実行委員会

北海道留萌市船場町  
2丁目 JR 留萌駅 2階  
TEL: 0164-42-3871  
FAX: 0164-42-2200

FM もえる 76.9MHz  
「わがまち元気発信」  
平日 8:25/12:25/18:25～

http://rumoifan.net  
毎日情報更新中!

ポッドキャスト配信中  
るもいfan.net トップページ  
「食の交流放送」からアクセス

# 工藤

KUDOU  
Toshiya

# 俊也さん

## 羽幌炭砒は 第二の故郷

留萌管内羽幌町にある羽幌炭砒跡。築別坑・羽幌本坑・上羽幌坑から成るその場所は今、まさに自然に還らんとしている。

### ヤマは心の故郷

羽幌炭砒は昭和15年開業、翌16年の太平洋戦争勃発、昭和20年の終戦という時代背景の中、昭和45年まで30年間、良質の石炭を掘り続けた。三つのヤマを合わせ閉山間際には1万2千人に達する程の人口であった。工藤さんは4歳までヤマで暮らした。



工藤 俊也さん  
昭和34年生まれ 羽幌町出身  
株式会社沿岸ハイヤー勤務  
羽幌町文化財調査委員  
プロフィール

父は羽幌本坑の木材会社勤務。幼心に残る羽幌炭砒は明るいイメージだ。床屋での散髪、父母と行った劇場、行き交う人で賑わう炭鉱住宅の中小路。新築された羽幌本坑の第二選炭工場見学会の光景は、ひと際印象的だ。父に抱かれ人の波に押されながら進む先には、ペンキの匂いと光あふれる

広場のような場所があった。あれから40年余り。現在、工藤さんは株式会社沿岸ハイヤーの社員として車両運行を管理する傍ら、訪れる人々を羽幌炭砒へと案内するガイドを務めている。

### ヤマの案内人

「羽幌炭砒・三炭周遊コース」が始まったのは5年前。天売・焼尻島観光に次ぐ観光資源として羽幌炭砒跡が候補になり、工藤さんは発案者として丹念に三坑を巡った。膨大な資料を集約し地図を作成。羽幌炭砒の隆盛を今に伝える「ヤマの案内人」となり、再びヤマに光をあてた。

この5年間で50組以上のガイドを務めたが、今も忘れられない出会いがある。終戦後まもなくヤマを去った元炭坑夫とその家族だ。当時、暮らしていた炭鉱住宅街にさしかかった時、草むら指さし「あそこは銭湯だった」と呟いた。

指さす場所へ向かうと確かにそれらしき痕跡が。集会広場、食堂、スキー場、当時の暮らしぶりまでを語る姿に、ヤマの記憶を留める者として共感する瞬間があった。

この場所には確かに人の営みがあった。

「羽幌炭砒は第二の故郷」だからこそ、朽ち果てて土に還ろうともなお、人々の心から消えることはない。



操業当時の第一選炭工場（築別坑） 一階部分を残すのみとなった現在の姿  
■「羽幌炭砒・三炭周遊コース」は下記へお問い合わせください  
〒078-4103 北海道苫前郡羽幌町南3条2丁目  
株式会社沿岸ハイヤー  
TEL: 0164-62-1551 ※ヤマ…炭砒の俗称

## 北るもい漁業協同組合

### 6つの拠点

北るもい漁業協同組合は平成16年に留萌管内中部の苫前町、羽幌町、初山別村、北部の天塩町の各漁協が合併し誕生した。平成21年度末現在、組合員数338名、船隻数は630隻、本所を羽幌町に置き、他に5つの支所（天塩・初山別・天売・焼尻・苫前）を有する管内随一の規模を誇る漁協である。

主な漁場は沖合の武蔵堆水揚げされる魚種は豊富で支所ごとに特色がある。羽幌本所の甘エビは漁獲量日本一を誇り、鮮度の良さや身の甘さは多くのお客様から支持を得ている。他にポタンエビ、通称ゴジラエビと呼ばれるイバラモエビがある。天塩のシジミ、サケ、ホッキ、初山別のタコ、フグ、ヒラメ、天売・焼尻のウニやメジマグロ、苫前のホタテ、カレイなどがセリ場を活気づけている。

### 北の魚をPR

販売促進や食育活動も重要な取り組みだ。祭りやイベントでの直接販売、インターネットでの通信販売、本・支所の直売所での店頭販売など、地元のお客様はもとより行楽客にも好評だ。漁協女性部の「浜の母さん料理教室」は毎回盛況で、オリジナルレシピや地元で伝わる伝統料理を都市圏の主婦らに伝える役割も果たしている。漁協ならではの結束力を活かし、北の魚の消費拡大を担っていく。



冬の羽幌港



通称ゴジラエビ（イバラモエビ）

北るもい漁業協同組合  
〒078-4120  
北海道苫前郡羽幌町港町1丁目31番地  
TEL: 0164-62-1291 FAX: 0164-62-5985

HP <http://www.gyokyo.net/>

2月は地元の野菜を食べようとしても、なかなか難しい季節です。時折手に入る、北海道産のホウレンソウやニンジン、低温保存されたジャガイモなどを除けば、ほとんどが道外の暖かい地方から運ばれてきた品物を買つこととなります。そんな折、るもいフードマガジンを通じて地元の食べ物を仕入れるルートを広げ、地元の野菜を保存する方法を学びました。今年はダイコンの越冬に成功しました。今は新

## 越冬野菜



間紙を内張りした発泡スチロールの箱に、ニンジン、タマネギ、カボチャを入れ、我が家のガレージで保存しています。今年1月のるもいフードマガジンの集まりでは、全て留萌管内で収穫・保存した、12種類の野菜、豆米、肉で作るシンブルなメニュー

「野菜のレインボー祭り」を紹介することができました。留萌管内にはこだわりを持った個性豊かな生産者が沢山います。その生産者と同じくらい色鮮やか風味豊かな食材を使った料理で、美味しさや栄養素を超えた満足感を得ることができました。（レシピはるもいフードマガジンHP）

「るもいフードマガジン」は留萌管内の産地消費・食についての情報交換の場です。どなたでもご参加できます。



主宰 佐藤アレーナさん

るもいフードマガジン  
〒077-0046  
北海道留萌市港町3丁目13番地  
TEL/FAX: 0164-42-9757  
E-mail: alainasato@hotmail.com

HP <http://www.rumoifan.net/RFM/>



エビの頭の味噌汁



エビかご

透き通った朱色の殻をむくと、ぷりっとした身があらわれる。濃厚な甘みは最高だ。刺身はもちろんだ、エビの頭は吸い物や味噌汁に入れるとエビ特有の旨味のあるだしがでて美味しい。3月の解禁が待ち遠しい。

## 季節の食材 エビ

NO.23

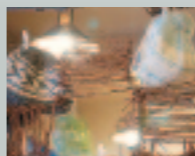


留萌沖は日本でも有数のエビ漁場であり、エビは一年を通して食することができ、漁法はエビかご漁が主流だ。エビのスケソウダラを入れたかごを海中に投入し翌日引き揚げ漁獲する。資源確保のため大型船は2月と9月、小型船は12月から2月までを休漁月としている。

通称甘エビと呼ばれるホッコクアカエビはオスで誕生し、5〜6年後交尾をするとメスに転換する。春先に数千個の卵を腹に抱え、翌年春に卵を産む。



納豆スパゲッティ



羊毛の帽子

喫茶店 ガコ  
〒078-4104  
北海道苫前郡羽幌町南4条3丁目  
TEL: 0164-62-1529  
営業時間: 9:00~20:00  
▶コーヒー 350円  
▶納豆スパゲッティ 450円

一杯のコーヒーを片手に、学生時代に戻れるなつかしい空間です。

店内には焼尻島の羊の毛糸で編んだ帽子やセーターなどが展示販売されている。本間さんが代表を務める羊毛細工グループ「綿羊（ひつじ）工房」が紡いだものだ。予約をすれば、実際に手編み体験もできる。

## 喫茶店 ガコ

昭和48年創業の喫茶「ガコ」は、往年の名曲「学生街の喫茶店」で知られるグループ「ガコ」の名にちなみ、名付けた。

メニューには、定番のナポリタンや、納豆好きの店主、本間龍子さんのアイディアで、納豆スパゲッティや納豆チャーハンもある。